

教科	美術	単元名	漢字を表現しよう！
----	----	-----	-----------

本時のねらい

- ・ 形や色彩などの感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に、美しさや表現のおもしろさなどをイメージする。
- ・ 材料や用具の活かし方などを身に付け、意図に応じて表現する。

本時における 1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・ 共有された様々な意見を比較して話し合うことで学びを深める。
- ・ スケッチアプリ (SketchBook) を活用することで、作品の改善や修正が容易になり、課題に取り組む際にどんどん考えを進めることができる。
- ・ 授業支援ソフト (SKYMENU Cloud) の共有機能を活用し、様々な工夫やアイデアを知ることで、自身の作品の表現を深めていく。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ 授業支援ソフト (SKYMENU Cloud)
- ・ スケッチアプリ (Autodesk SketchBook)
- ・ Microsoft PowerPoint
- ・ 大型モニタ

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあて・目標を確認する。 「漢字が持つ意味を効果的に伝えるために、色の持つイメージや雰囲気、用具・材料の特性を作品に反映させ、見た人が素早く内容を理解できるように表現する。」 ○SketchBook の使い方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大型モニタに投影して、本時のめあて・目標を確認する。 ○大型モニタに投影しながら実際にアプリを操作して、筆の変え方・色の塗り方を確認する。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○次時以降に作品を画用紙で制作するためのアイデアスケッチを、SketchBook で作成する。 ○レタリング辞典を使って自分が表現したい漢字を選択し、その漢字の持つイメージと選択した理由を考える。 ○漢字の持つイメージを表現するために必要なモダンテクニックの技法や、どの材料・用具の特性が効果的かを考える。 【写真1】 ○作成しながら、漢字を選択した理由や表現方法などの意見交流をする。 【写真2】 	<ul style="list-style-type: none"> ○大型モニタに投影しながら、SketchBook でテキストを挿入する方法などを確認する。 ○大型モニタに投影したモダンテクニックの解説を参考に、生徒は「描く消す」や「色や用具を替える」が容易にできる SketchBook で試行錯誤して、漢字の持つイメージや雰囲気を考えることができる。 ○SketchBook 上の作品は、意見交流をしながら容易に変更や修正ができる。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○作成したアイデアスケッチを、発表ノートで提出する。 ○クラスメイトの作品を大型モニタや iPad で閲覧しながら、漢字を選択した理由や漢字の持つイメージからどのような色や用具・材料を使って発想を表現したのかを意見交流する。 ○クラスメイトの作品の閲覧や意見交流で気づいたことを、自身の制作に活かす。 【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ○SketchBook 上のアイデアスケッチをスクリーンショットして、発表ノートに貼り付けて提出する。 ○発表ノートで提出された作品を全員が自由に閲覧できるように設定しておく。 ○意見交流のポイントを大型モニタに明示することで、意見交流の活性化をはかる。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：漢字の持つイメージを表現するために、表現方法を試行錯誤する様子



写真2：作成しながら、表現方法などの意見を反映している様子



写真3：他の作品や意見交流で気づいたことを活かして完成した作品

児童生徒の反応や変容

- ・ SketchBook を活用することで、配色やフォントによる表現の違いを容易に把握できるので、新たなアイデアが生まれやすかった。
- ・ 自分と他者のアイデアを比較したり、工夫を交流したりする等、意欲的に作品制作に取り組む様子が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・ アイデアスケッチなど自分の考えを整理するときは、今回使用した SketchBook は簡単に描いたり消したり、色や用具・材料を替えたりすることができるので、かなり使いやすいように感じた。
- ・ 大型モニタに生徒一人ひとりが感じとった作品のよさを投影し共有することで、多くの意見を交流することができ、考えを一層深めることにつながった。